

# 歴史を

荒玉地区にはたくさんの魅力ある史跡があります。その中のほんの一部をご紹介します。他市町の史跡を知り、自分のまちの史跡を違う角度から見られるようになることで、新しい発見があるのではないのでしょうか。きっと、もっと自分のまちや荒玉を好きになれるはずです。



玉名市マスコット  
タマにゃん

玉名市からは、国の重要文化財に指定されている干拓施設の紹介にゃん。



長洲町マスコットキャラクター  
ふれきんちゃん

有明ソーラーパワーでは壮大なメガソーラー施設を間近に見ることができるよ♪

## 5 昭和



干拓施設（玉名市）

玉名市は干拓が盛んな地域で明治から昭和にかけて築造された堤防や樋門の一部が国の重要文化財に指定されています。その中で最も保存状態の良好なものが玉名市大浜町の末広開樋門すえひろひらきひもんです。明治20年代に着工されたもので、明辰川めいしんかわに設置された三枚戸樋門が2基あり、通称「六枚戸ろくまい」と呼ばれています。この地域で最大級の規模を誇り、昭和42年に国営干拓が完了するまで第一線の潮受堤防として役割を果たしました。

和水町から紹介する石橋「鬼丸眼鏡橋」は、ツーリング客がよく訪れるスポットとなっているよ。ちなみに熊本県は石橋が多くて、石橋の宝庫と呼ばれているんだ。



和水町山太郎祭イメージキャラクター  
環ちゃん・境ちゃん

## 6 平成



有明ソーラーパワー（長洲町）

名石浜工業団地内に広がる壮大なメガソーラー施設。東京ドーム2.5個分の広さに設置された太陽光パネル20,280枚の年間発電量は、約3,900MWhにも及び、一般家庭の約1,000世帯分の年間電力消費量に相当します。

この施設は、環境面に配慮した設備としてだけでなく、社会科見学ルートや観光資源としての活用も期待されており、「環境の町・長洲」として大きな一歩を踏み出しました。

## 4 大正



鬼丸眼鏡橋（和水町）

和水町には、6個の石橋が現存しています。その中でも中和仁地区、県道4号玉名八女線沿いの矢部谷川に架かる石橋「鬼丸眼鏡橋」は、大正5年に石工「小山世作」により架橋。長さ10.7m、幅4.4mと石橋の中でも大きな部類になります。当時、生活路として大きな役割を果たしました。その後、県道拡幅に伴い解体される予定でしたが、地域住民の強い要望で現地保存されています。